



産直ニュース（農・畜・水産）29週号



生活クラブの産直材は、より美味しくより安心して頂ける様に生産者を指定しています。このため、天候・生育状況等によってはお届け週が予定変更になる場合や、緊急にお知らせが必要な場合もありますので、本ニュースで産地の状況をお知らせします。

生活クラブ関西

*納品書「次週以降のお届け」が上手く機能していません。果物類お届けは下表をご参考にして下さい。

今後のお届け品スケジュール

単協 事業所	大阪					京都		奈良	滋賀
	茨木	豊能	香里	門真	平野	西	東	奈良	滋賀
29週	桃: 白桃系(豊能、京都、奈良、滋賀)					プルーン(大阪)			
	ブルーベリー②								
30週	桃: 白桃系(香里、門真、平野、茨木)					プルーン(京都、奈良、滋賀)			
	ブルーベリー③								
31週	生協の配達はお休みです。								
32週	予約デラウェア①(!)					枝豆①(!)			

*(!)は調整の可能性有ります。

お知らせ 産地情報

■マキララ(バランゴンバナナ産地)・・・地震復興支援の御礼



2019年10月にフィリピン・ミンダナオ島コタバト州のマキララ町で発生した地震では、緊急救援及び復興支援として日本の各団体からのカンパ金を現地のバランゴンバナナ出荷団体であるドンボスコ財団に送金し、緊急救援および復興支援活動を実施しました。(生活クラブ関西各単協でも取り組みました)

約1年半経過して、まだまだ様々な問題はありますが地域は徐々に落ち着きを取り戻し、マキララからのバランゴンバナナ出荷も継続できています。

この度、ATJ(オルタートレードジャパン)を通じ、支援へのお礼と経過報告がドンボスコ財団より届きました。

←生活クラブ関西の組合員からの支援に対して「感謝の盾」が届きました。文面の一部に「再建への貢献に永遠の感謝と感謝の意を表して、この表彰の盾を生活クラブ事業連合に贈呈します。これにより、社会的および環境的に責任のある農業生産システムを促進および開発するという使命を継続することができました。」と記されています。

◇地域住民への支援活動

ドンボスコ財団では近隣住民に対して食料などの緊急救援物資の配布を実施し、立ち入り禁止となってしまった地域の住民の仮避難先として財団の敷地の一部を提供しました。被災者は壊れてしまった家から使える材料は持ってきて使いましたが、不足分の資材購入などには、日本などからの支援金が活用されました。またドンボスコ財団では、住民が落ち着いた生活に移行できるように、バランゴン畑の一部を整備し、5年間の期限付きで仮設住宅建設用の土地とし地域被災者に貸与しています。→現在、仮設住宅ではこのように花も植えられ、落ち着きを取り戻してきました。



◇有機農業の研修施設再建



ドンボスコ財団は、若者たちの農業研修の場でもありました。事務所や研修棟があった一角は完全に地面に亀裂が入り、建物再建禁止地域に指定されたため、ドンボスコ財団では所有する別の土地に事務所を再建しました。その資材の調達にもまた支援金が活用されています。

★支援カンパへのご協力ありがとうございました！！